

## ホッコクアカエビの種苗生産に関する研究-I 幼生のふ出

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2025-04-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 有瀧, 真人, 関谷, 幸生, 早乙女, 浩一 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014416">https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014416</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



## ホッコクアカエビの種苗生産に関する研究—I 幼生のふ出

有瀧真人・関谷幸生・早乙女浩一

ホッコクアカエビの種苗生産のために、幼生を大量に確保することを検討した。幼生の確保はエビ籠漁獲物の生きた抱卵エビ、エビ籠漁獲物の死んだ抱卵エビ（剥離卵）、底曳網漁獲物の死んだ抱卵エビ（剥離卵）の3種類から行った。その結果を抱卵数、管理方法、ふ出状況、ふ出率、について比較し、底曳網漁獲物の剥離卵から安定して大量に幼生を確保できることを明らかにした。また、この方法を用いれば、早期の幼生の確保が可能となり、1水槽で2回生産が期待され、量産に対応できることが考えられた。

栽培技研, 22(2), 109-115, 1994